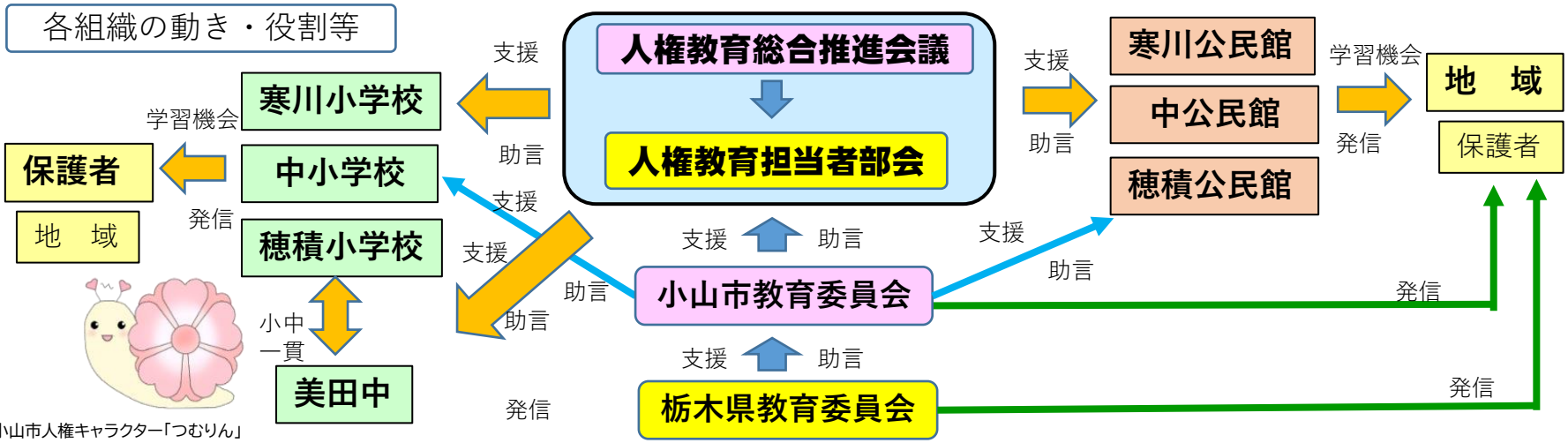
# 令和４年度　人権教育研究推進事業　＜人権教育総合推進地域事業＞

| | | | |
|---|---|---|---|
| 都道府県・指定都市名 | 小山市 | 地域名 | 美田中学校区 |

| | |
|---|---|
| 人権課題 | 子どもの人権、外国人、同和問題、ハンセン病患者等 |
| 目標・人権教育のねらい | 一人一人が大切にされ、人権が尊重される地域づくり<br>～学校教育・社会教育両輪で進める地域に密着した人権教育～ |

各組織の動き・役割等




小山市人権キャラクター「つむりん」

| | |
|---|---|
| 校種間連携の概要 | 各校教務主任による担当者部会を設置し連携を図った。学校における共通目標として「気づき、認め、高め合う～自他のよさに気づき、互いに認め尊重し合い、高め合う地域をめざす～」を設定し、各校で揃えるべきところと独自性を発揮するところを明確にして実践を積み重ねた。 |
| 地域・関係機関との連携の概要 | 小・中学校、ＰＴＡ、公民館、自治会、教育委員会の代表者で構成された人権教育総合推進会議において、コロナ禍における人権教育・啓発の在り方について協議し、公民館主催の人権学習会を学校体育館で開催することで、密を避けながらより広く参加を呼びかけることができた。 |
| 事業成果 | 知識的側面：「いじめはどんな理由があってもしてはいけない」５ポイント上昇した。<br>価値・態度的側面：「自分にはよいところがある」１０ポイント上昇した。<br>技能的側面：「よりよい集団作りのため、友達と協力して行動している」２ポイント上昇した。 |